

クビレツタの増養殖試験

当真 武・仲間 勲*

目的および内容

クビレツタ（海ぶどう）の養殖技術を確立する。

藻体を約10~15cm（約10~15g）に切断し、それをアンドンカゴ（直径50cmの4~5段、目合約3cm）の中央部に結着する手法とサランネット（防虫網）1×10mを海底に敷設したものに親草を約1m間隔に結着する手法を用いる。2~3カ月後にはアンドンカゴ一段（0.2㎡）あたり、平均約1.5kg、カゴ一組で約6kgの収穫が得られる。ネット敷設法によると1m×1mあたり、約1.8kg収穫され、網1枚あたり18kgの収穫が見込れる。これらの手法は増養殖技術としてかなり期待できることがわかった。与那覇湾、嘉手苺入江の利用可能な面積から試算すると産業として充分成立するものと推定される。

方法

アンドンカゴ、ネットを用いる両手法の基本的な概略図を図-1に示した。杭は浜辺に普通に生育するモクマオウ（モクマオウ科）を使用すると安価でしかも1年以上耐応できる。アンドンカゴ、ネットも市販されているものを用いた。しかし、この養殖手法に合わせて改良することも必要である。網を固定するには一分鉄筋をJ字状に曲げてさしこむ。藻体の切断および結着作業は日陰で行なう。結着に使用するヒモはインシュロックタイTR-30（タイトン株式会社製）を用いると作業が短時間ですむ。アンドンカゴはそのまま使用してもよいが、あらかじめその底にサランネット等のような着根しやすい基質をセットしておくとも根つきが早い。

結果

結果を表-1に、生育状態を図-1~図-5に示した。当真（1981）によると室内における成長状態は生育条件がよいと約2cm/日を示したが、天然においても同程度の成長を示した。なお、食用になる葉状部の藻全体にしめる割合は、全湿重量の80%~50%の範囲であり、およその歩どまりは約6割ぐらいとみられる。

表-1. チョウチンカゴによる養殖試験

段	1980. 3月~7月 kg/段		1981. 2月~6月 kg/段	
	11	2	1	2
1 (0.2㎡)	0.2	0.9	1.1	0.5
2	2.1	2.5	2.3	2.5
3	4.1	2.1	2.2	3.0
4	2.3	3.0	1.8	0.5
5	0.3	0.5	-	-
計	1.4	1.8	1.9	1.6

一段平均1.7kg、5段（約1×1m）当り約8.5kg

脚注 *宮古支庁・農林水産課水産改良普及員。

※ 内 訳

カゴの一段	①全湿重量(kg)	②葉部湿重量	②/①×100
3段の	表面	2.56	83.1%
	裏面	1.58	78.2%
計	4.14	3.39	81.9%

ネット敷設による試験結果 (与那覇湾中央部)*

期 間	1980.6 / 1 ~ 1980.8 / 1						
	1	2	3	4	5	6	平均 kg
上限	2.5	2.5	2.4	3.0	2.8	2.8	1.8
下限	0.3	1.0	1.7	0.6	0.9	0.9	

* 試験網数10枚一途中紛失4枚、収穫した網も途中何回か摘みとられた形跡があった。

考 察

垂下式カゴと海底敷設のネット方式の収穫量を比較すると、かなり前者が多い。しかし試験開始時期や施設の管理等に大きな差があるので詳細な比較はできないが、全体的な経過からみても前者がかなり良い。後者は水深が浅く、カゴ垂下が難しい場所や、海底が泥地帯で良好な着生基質を持たない湾奥部等で効果的であり、前者は集約的管理により増収が期待できる。

要 約

クビレツタの茎状部を10~15cmに切断し、着生基質に結着する手法で増養殖が可能である。浅いところではサランネット等を海底に敷設し、着生面積を造成する。やや深いところではアンドンカゴ等を垂下して集約的に養殖する。生育条件がよいと、天然漁場においても室内試験同様1日約2cmの茎状部の伸長が認められた。

今後の課題

大規模な増養殖が開始されると早期すなわち、3~4月頃の親クサが不足するものと予想される。それにはアンドンカゴの一部を残すことも考えられるが、その絶対量をカバーするには、低水温時の種苗保存の技術開発が望まれる。

参考文献

- 当真 武 (1980) クビレツタ養殖試験、昭和55年度日本水産学会春季大会講演要旨、P17。
 —— (1980) クビレツタ養殖に関する基礎的研究 I、昭和54年度沖縄水試事業報告、P135~154。

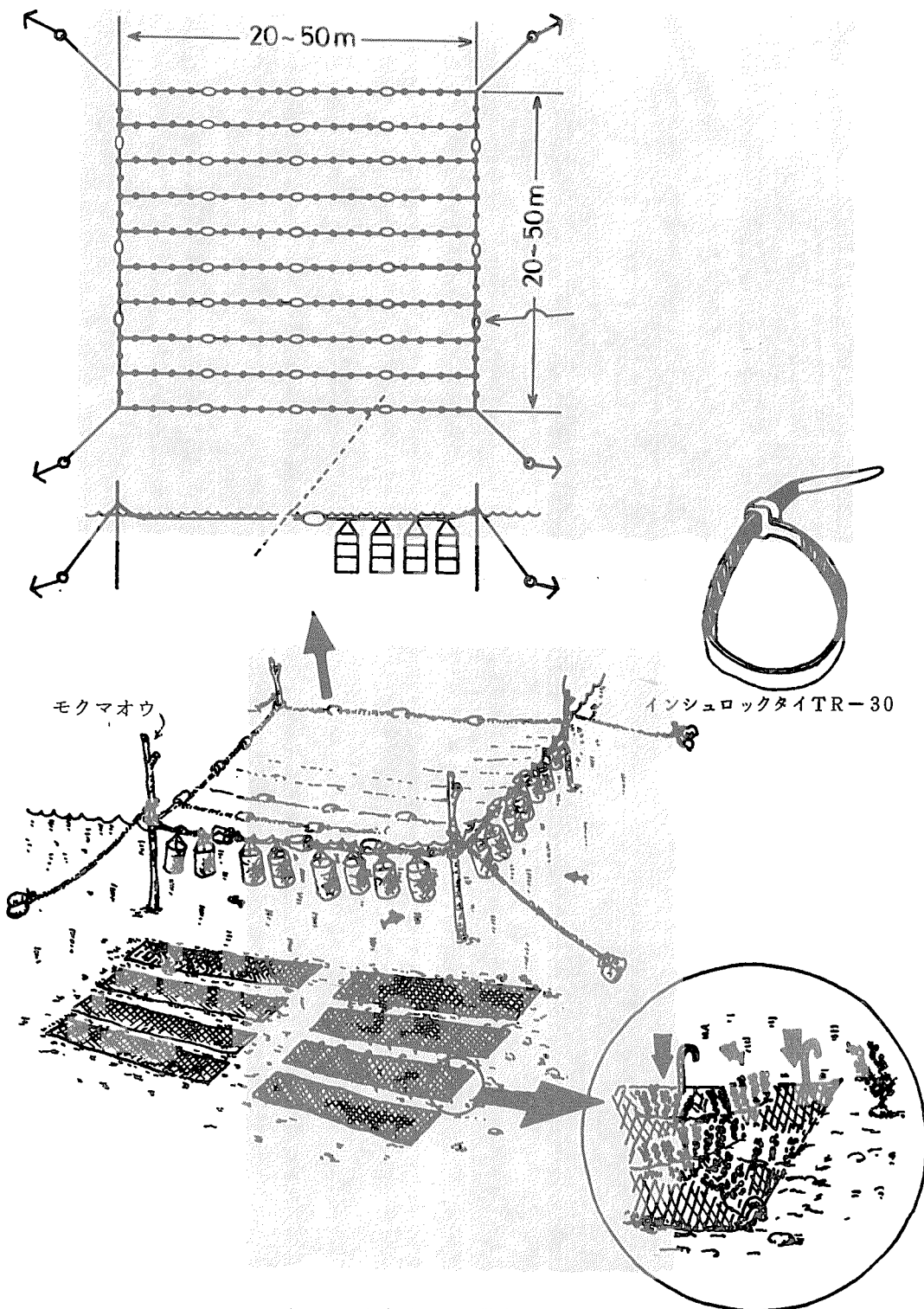


図-1 クビレツタ養殖の方法



図-2 アンドンカゴの最上段の生育状態

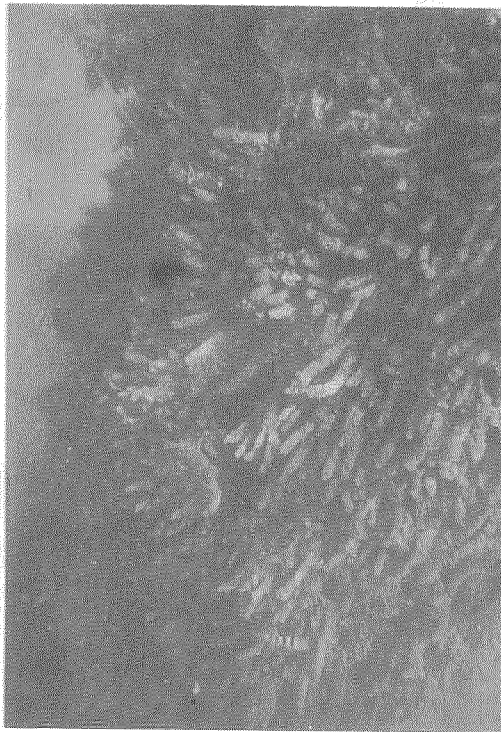
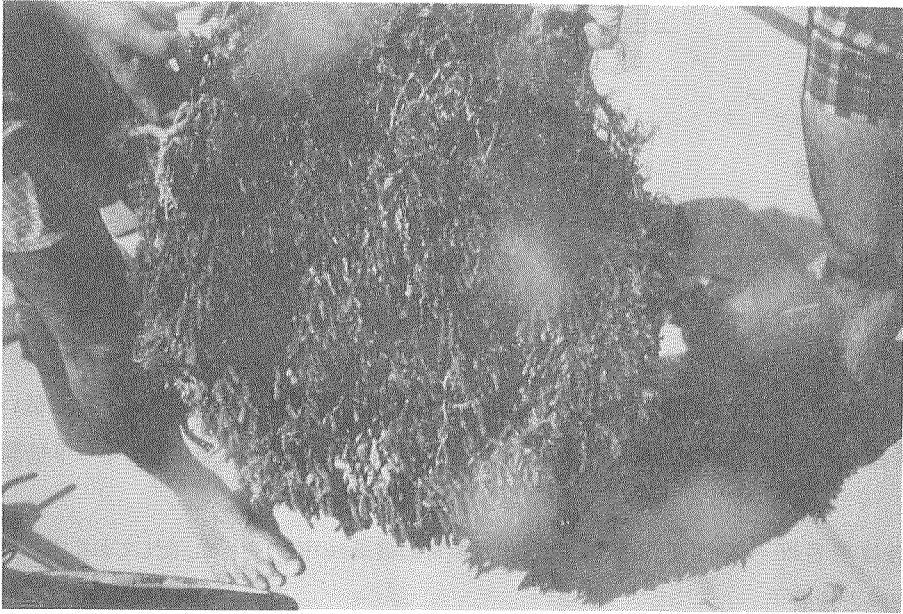
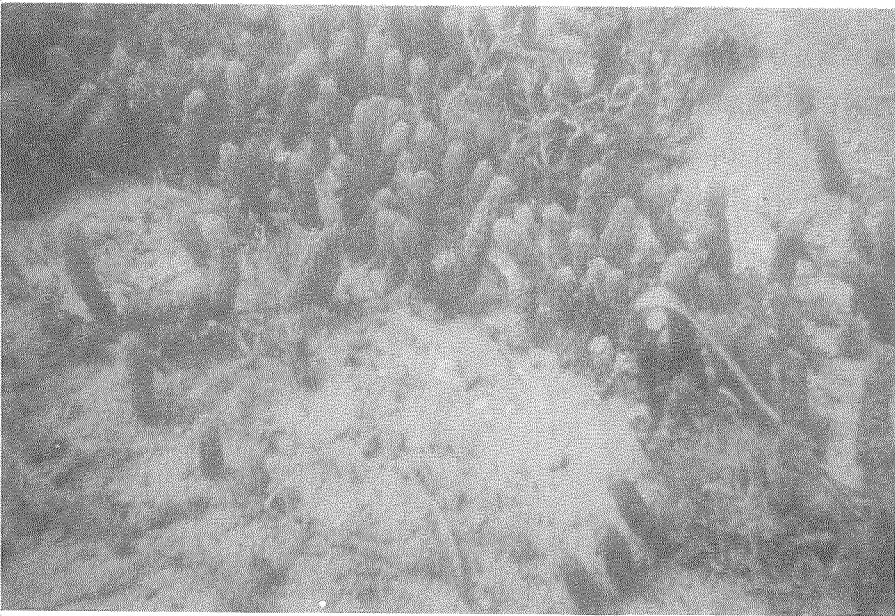


図-3 アンドンカゴ（5段）の生育状態—約 15 kg

創設の目的は、漁業の発展と漁民の生活の向上にあり、



図一四 アンドンカゴ一段 (0.2 m²) の収穫状況、約 4 kg



図一五 海底に敷設したサランネットに着生した
クビレツタ 結着後 25 日目